

**問** 今後の水道料金の見直しは

**答** 平成39年度までは据え置きと試算



田中榮一 議員

**【水道事業の維持管理】**

**問** 水道事業の現状は、法定耐用年数40年を超えた管路が30kmを超え、老朽化した水道施設は増加傾向。水道ビジョン策定時は、水道料金値上げが必須とされていたが。

**答** 策定した経営戦略は、平成39年度までの間は、水道料金を据え置きとして試算している。今後の水道料金は、計画期間中から継続的に料金体系の検討を行い、必要な場合は改定を行う。

**問** 経営計画における収支計画の試算数値は。

**答** 水道事業における最大の収入は水道料金。各年度の料金収入を2億6千万円、老朽化施設更新のための国庫補助

**【道路改修の今後の方針】**

**問** 住民からの要望が多い道路改良補修繕は。

**答** 要望箇所の緊急性や重要性を鑑み、「路面の損傷度合、交通量、児童生徒の通学路、地域の合意形成は整っているか、工事実施の難易度」などを、項目ごとに基準を設けて工事を行っている。

**問** 舗装修繕についての考えは。

**答** 村道の管理延長は330km、その内舗装箇所の延長は170km。通常は月2回ほど職員による道路パトロールを行い、穴埋め等をしている。今年度から事後的な修繕対応から、計画的に修繕をすることで、係る費用の縮減と交通安全を確保するため「舗装の個別施設計画」を策定。

**問** 橋梁の修繕は。

**答** 昨年度までに管理する橋梁107橋の定期点検が完了し、「第2期橋梁長寿命化修繕計画」を策定し、橋ごとに健全度を評価し、架橋の環境条件等、総合的に判断し優先順位に基づき順次補修を実施。計画的に維持管理を行い、安全の確保と修繕費の縮減に取り組む。

**問** 道路改修の今後の計画は

**答** 舗装の個別施設計画を策定

**問** 脳ドック受診者に補助を

**答** 創設を検討する余地はある

**【脳ドック補助】**

**問** 「白馬村第2期保険事業実施計画」が目指す方向性として、脳血管疾病の減少を掲げている。脳ドック受診者に対する補助制度を設置する考えは。

**答** ここ数年、本村の脳血管疾患の割合は高い水準で、将来的に重症化予防に期待されるのであれば、検討する余地はある。



村内で法定耐用年数40年を超えている水道管は30km  
大川橋横にある管路は大丈夫か